

令和5年度 国語《第3学年》年間指導計画

担当（ 岡本 匡史 ）

国語 教科の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり、育成することを目指す。

国語 第3学年の目標
（１）社会活動に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して事故を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準		評価資料
4	深まる学びへ ・握手 ・評価しながら聞く ・学びて時に之を習ふ ・情報整理のレッスン ・文章の種類を選んで書こう ・漢字に親しもう1	①表現の豊かさを味わい、生き方を考える。 ②説得力のある考えを述べる。 ③論理の展開を工夫して批評文を書く。 ④人の意見を自分の意見と比較し、評価しながら聞く。 ⑤熟字の読み方と使い方について知る。 ⑥漢文を読み、自分たちの生き方との関連を考える。 ⑦多様な図書館について知り、幅広い分野の本を読み、内容をまとめ記録する。	【知】	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	【知】 A、B、C、D
5			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、B、C、D、F
			【態】	・聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。 ・進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。 ・粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。 ・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。 ・進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】 A、B、C、D

6	7	視野を広げて ・作られた「物語」を超えて ・思考のレッスン ・説得力のある構成を考えよう ・漢字に親しもう ・文法の扉 ・実用的な文章を読もう	①論理の展開や表現の工夫について読み取る。 ②互いに推敲しながら文章を書く。 ③聞き手の求める情報を的確に捉え、自分の経験や知識を整理して話す。 ④和語・漢語・外来語について、その成り立ちや特徴を理解し、適切に使い分ける。 ⑤幅広い分野の本を読み、内容をまとめ記録する。	【知】	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。	【知】 A、B、C、D
				【思】	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。	【思】 A、C、D、G
				【態】	・進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。 ・具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。 ・相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。	【態】 A、B、C、D
	8	言葉とともに ・俳句の可能性 ・言葉を選ぼう ・言葉 ・読書生活を楽しむ	①俳句に触れ、ものの見方や感じ方を豊かにする。 ②言葉に違いや伝え方の配慮を知り、よりよく伝える。 ③文法の知識を生かして伝え合い、読み味わう工夫をする。 ④身近な言葉について、世代間で意味の異なる言葉を探し、自分の考えをまとめる。 ⑤「批評」についての文章を読み、自分の考えをまとめる。 ⑥伝えたいことについて整理するとともに、目的や意図、効果について考え表現する。 ⑦印象に残った言葉について、経験をふまえ、自分の考えをまとめる。 ⑧幅広い分野の本を読み、紹介するとともに、紹介を聞く。	【知】	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。	【知】 A、B、C、D
				【思】	・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、C、D、E
				【態】	・進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。 ・進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。 ・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。	【態】 A、B、C、D

9	状況の中で ・挨拶 ・故郷 ・聞き上手になろう ・論理の展開を整える ・言葉 ・漢字	①表現の工夫に注意して、状況と人間の関わりを考える。 ②詩に表現されている内容と現実の世界のあり方とを対応させながら読む。 ③情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や意図を読み取る。 ④漢字の造語力について理解を深める。 ⑤同一テーマについての複数の文章を読み比べ、論理展開の仕方や内容について評価する。 ⑥幅広い分野の本を読み、表現の仕方を工夫して紹介する。	【知】	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	【知】 A、B、C、D
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、B、C、D、E
			【態】	・粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。 ・詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 ・目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。 ・積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】 A、B、C、D
	自らの考えを ・人工知能との未来 ・多角的に分析して書こう ・漢字に親しもう ・話し合いを効果的に進める ・合意形成に向けて話し合おう ・初恋	①筆者のものの見方や考え方をふまえ、人間や社会について自分の考えをもつ。 ②筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して、主張をとらえる。 ③効果的に話し合うことを通して課題の解決を図る。 ④社会生活で目にしたものについて、観点をたてて分析し、また伝わりやすい表現をする。 ⑤文法についての知識を整理し、確認する。	【知】	・第2学・年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	【知】 A、B、C、D
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、B、C、D、F
			【態】	・積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。 ・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	【態】 A、B、C、D

11	いにしえの心と語らう ・和歌の世界 ・君待つと ・夏草 ・古典名句・名言集	①昔の人の生活ぶりや社会の様子を想像して読み、共通する思いや異なった見方について考える。 ②作品を声に出して読み、リズムを楽しみ、古典に親しむ。 ③古典の一節を引用して、自らのメッセージを伝える文章を書く。	【知】	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	【知】 A、B、D
			【思】	・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、C、D、G
			【態】	・進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。 ・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。	【態】 A、B、C、D
	価値を生み出す ・誰かの代わりに ・情報を読み取って文章を書こう ・漢字 ・文法の扉	①様々な文章を読み、自分の今までとこれからについて考える力を養う。 ②伝えたいことについて整理するとともに、目的や意図、効果について考え表現する。 ③これまでに学習した漢字について理解を確かにする。	【知】	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	【知】 A、B、C、D
			【思】	・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【思】 A、C、D、F
			【態】	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	【態】 A、B、C、D
	未来へ向かって ・温かいスープ ・私を束ねないで ・漢字に親しもう ・三年間の歩み、学習を振り返ろう	①伝える内容を明確にし、紙面構成を工夫しながら編集する。 ②様々な文章を読み、自分の今までとこれからについて考える力を養う。 ③伝えたいことについて整理するとともに、目的や意図、効果について考え表現する。 ④これまでに学習した漢字について理解を確かにする。	【知】	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	【知】 A、B、C、D
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「読むこと」において、文章や詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【態】 A、B、C、D、E、F、G
			【態】	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。 ・粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】 A、B、C、D